

令和4年度
事業報告書

社会福祉法人 安芸高田市社会福祉協議会

自 令和4年 4月 1日

至 令和5年 3月 31日

目次

■事業報告概要.....	1
--------------	---

■事業報告

【総務課】

(1) 法人運営事業.....	4
(2) センター受託管理運営事業.....	7

【地域福祉課】

(1) 地域福祉会議事業.....	8
(2) 小地域お茶の間づくり事業.....	9
(3) ふれあいサロン事業.....	9
(4) 認知症カフェ事業.....	10
(5) 福祉・介護出前講座.....	11
(6) 一般介護予防事業（げんき教室）.....	11
(7) 福祉サービス利用援助事業「かけはし」.....	12
(8) 成年後見事業.....	12
(9) ボランティア活動・被災者生活サポートボラネット事業.....	13
(10) 日常生活応援サービス事業「ほほえみネット」.....	14
(11) 安心生活創造事業.....	14
(12) ファミリー・サポート・センター事業.....	15
(13) 子育て支援センター一時預り事業.....	15
(14) 障がい者地域生活アシスタント事業.....	16
(15) 配食サービス事業.....	16
(16) 生活福祉資金・つなぎ資金貸付事業.....	17
(17) 車椅子1日無料貸出.....	17

【関連機関事務事業】

(1) 安芸高田市共同募金委員会事務事業.....	18
(2) 日本赤十字社広島県支部安芸高田市地区事務事業.....	19

【地域包括支援センター】

(1) 総合相談業務（権利擁護相談含む）.....	20
(2) 包括的・継続的ケアマネジメント業務.....	21
(3) 地域ケア会議.....	23
(4) 権利擁護業務.....	25
(5) 関係機関との連携.....	26

(6) 広報等.....	27
(7) 研修会・講演会への参加.....	28
(8) 指定介護予防支援業務.....	28

【介護支援課】

介護保険事業.....	30
(1) 福祉・介護人材確保基盤整備事業.....	30

(本所事業所)

(1) 居宅介護支援事業.....	31
-------------------	----

(吉田事業所)

(1) 訪問介護事業.....	32
(2) 障害者自立支援事業.....	33
(3) 訪問介護自費サービス事業.....	33

(甲田事業所)

(1) 訪問介護事業.....	33
(2) 障害者自立支援事業.....	34
(3) 養育支援家庭訪問事業（受託）.....	34
(4) 産前産後サポート事業.....	34
(5) 通所介護事業.....	35
(6) 福祉用具貸与事業.....	35
(7) 福祉用具販売事業.....	36

令和4年度 安芸高田市社会福祉協議会 事業報告

■事業報告概要

◆はじめに

令和4年度は、第2次中期経営計画(地域福祉活動計画)の4年目にあたり、「ともに支えあい、心豊かに」を基本理念に、＜地域福祉と在宅福祉の融合＞、＜福祉の開拓者として＞の2項目を基本方針の柱に掲げ、事業推進を図りました。

また、地域共生社会の実現に向け、「地域福祉会議」を安芸高田市全域に設置し、第2次中期経営計画のアクションプランとして策定した「地域福祉会議事業推進5か年計画」に基づき、住民主体による地域課題の解決に向けた取組を推進しました。

さらには、令和4年度に県社協から、社協型総合相談支援体制強化事業の指定を受け、社協組織の横断的な連携を図りながら複合的な課題を抱える世帯等の相談支援や地域課題解決に向けた体制づくりに取り組みました。

その中で、住民主体の地域課題の解決力の向上と地域支援のあり方を確認しつつ、地域共生社会の実現をめざし、次の重点取組を柱に各事業に取り組みました。

◆令和4年度の取組

1. 地域福祉と在宅福祉の融合～地域共生社会づくりの強化

(1) 人つながりと地域づくりの強化

地域福祉会議の運営支援

ふれあいサロン事業や小地域のお茶の間サロン事業の第3層域を推進することにより地域課題を抽出できる体制を強化し、その課題を自分事として捉える意識づくりや情報共有を行なうことで、地域住民主体で解決するしくみの検討と事業化に向けた支援を行ないました。

(2) 介護保険事業の安定経営

介護保険事業では、コロナ禍でありながらも、利用施設等の衛生管理や利用者・職員の体調管理等を行ない、事業を止める事なく推進しました。

また、ふれあいセンターこうだを介護拠点とした機能強化を図るとともに、新型コロナウイルス感染症をはじめとする感染症や自然災害の影響下における事業継続を図るため、事業継続計画(BCP)策定ワーキング会議を開催し、策定しました。

(3) 他団体との連携

福祉・人材確保等総合支援協議会を開催し、福祉・介護人材の確保および育成、定着を図る取組の一環として、介護職員初任者研修を実施し10名の受講を支援し、全員が修了試験に合格できました。

また、令和4年度は新たに介護助手育成研修を実施し、9名の受講申込を受け、高齢者福祉施設での施設見学や車椅子の使用法および体験、ケアサポーターの方の講義を受講していただきました。

引き続き、各団体や関係機関と協議しながら、地域の担い手を創出するために継続して事業を取り組めます。

2. 福祉の開拓者として～社協組織と財政基盤の強化

(1) 組織経営の強化

理事会、評議員会および各部会等の開催により、社協事業の適正な運営を図り、組織経営の強化に努めました。

また、監事会における指摘事項等を組織経営の改善の柱として取組を行ない、税理士等との連携を図りました。

(2) 情報化の推進

社協で実施した各行事や地域住民へのお知らせ事項等を随時ホームページを活用し掲載し、社協の見える化を推進しました。

また、職員の働き方改革への取組の一環として、新たに勤怠管理システムを導入しました。今後は職員の出勤管理、時間外勤務の申請および決裁事務、休暇申請等をシステム内で行ない、職員の労務管理を適正に実施します。

(3) 事務組織の強化

Web会議を活用し、積極的にさまざまな研修に参加し、職員の資質の向上を図るとともに、事務組織の在り方等が定着するよう、内部研修を定期的に行ないました。

(4) 財源確保の強化

社協会員台帳の作成を行なうとともに、社協の事業に賛同、理解していただける取組を行ないながら、会費納入率の向上、寄附金の増額に向けて取り組みました。

地域福祉事業の財源となる共同募金運動として、コロナ禍のため街頭・イベント募金は中止としましたが、今年度も商工会の協力のもと、賛同をいただいた企業や商店の窓口に募金箱を設置するなど、赤い羽根募金活動を行ないました。

(5) 法令遵守等体制の整備

新型コロナウイルス感染症の対策として、感染症マニュアルに基づき「3密をさける」「手洗い、マスク着用」「不要不急の外出を避ける」等の対策や、衛生委員会を定期的開催し産業医の指導を仰ぎながら、役職員、利用者、住民の方々の協力のもと感染症対策を行いました。

また、同一労働同一賃金等働き方改革の整備に伴い、職員の働きやすい環境を整えました。

■ 事業報告

令和4年度の各事業の実施状況について、以下、ご報告します。

【総務課】

(1) 法人運営事業

社協の基本理念や基本方針の下、役職員が共通認識を持ち、事業を円滑に進めるため、以下の会議、研修を開催するとともに会務の運営を図りました。

① 理事会：計4回

区分	内容	実施日
第1回	○令和3年度事業報告・資金収支決算の承認について他	令和4年5月31日
第2回	○規程の一部改正について、資金収支補正予算(第2次)について他	令和4年11月28日
第3回	○令和5年度予算編成に伴う課題の協議について	令和5年1月23日
第4回	○規程の一部改正について、令和5年度事業計画、令和5年度資金収支予算について他	令和5年2月22日

② 監査：計2回

区分	内容	実施日
第1回	○令和3年度事業報告及び決算等、日本赤十字社安芸高田市地区に関する事項及び業務、安芸高田市共同募金委員会に関する事項及び業務	令和4年5月19日
第2回	○令和4年度上半期事業報告および経理状況等、日本赤十字社安芸高田市地区に関する事項および業務、安芸高田市共同募金委員会に関する事項および業務	令和4年11月16日

③ 評議員会：計3回

区分	内容	実施日
第1回	○令和3年度 社会福祉法人安芸高田市社会福祉協議会事業報告の承認について他	令和4年6月16日
第2回	○資金収支補正予算(第2次)について、理事の選任について	令和4年12月6日
第3回	○資金収支補正予算(第3次)について、令和5年度事業計画、資金収支予算について他	令和5年3月3日

④ 市福祉保健部・市社協社会福祉事業調整協議会：計2回

区分	内容	実施日
第1回	○令和5年度予算要望について	令和4年11月11日
第2回	○ふれあいセンターいきいきの里無償譲渡および吉田老人福祉センター閉館に関する協議	令和5年1月12日

⑤ 総務部会：計2回

区分	内容	実施日
第1回	○第1回理事会提出議案等についての審議他	令和4年5月23日
第2回	○第4回理事会提出議案等についての審議他	令和5年2月15日

⑥ 介護保険事業関係部会：計3回

区分	内容	実施日
第1回	○第1回理事会提出議案等についての審議他	令和4年5月27日
第2回	○通所介護事業の利用定員について、訪問介護事業所の移転とサテライト化について	令和5年1月17日
第3回	○第4回理事会提出議案等についての審議他	令和5年2月17日

⑦ 総務・介護保険事業関係合同部会：計1回

区分	内容	実施日
第1回	○第2回理事会提出議案等についての審議他	令和4年11月22日

⑧ 広報委員会：計5回

区分	内容	実施日
第1回	○社協だより「第73号」掲載内容について	令和4年4月11日
第2回	○社協だより「第74号」掲載内容について	令和4年7月4日
第3回	○社協だより「第75号」掲載内容について	令和4年8月29日
第4回	○社協だより「第76号」掲載内容について	令和4年11月29日
第5回	○社協だより「第77号」掲載内容について	令和5年3月30日

⑨ 役職員関係

区 分	内 容	実施日
役員・評議員等研修	○久留米市社協視察研修会 7名	令和4年10月18日・19日
	○支え合い活動リーダー等養成研修 3名	令和5年3月10日
職員研修	○その他事業別研修等	随時

⑩ 会費関係

広報やホームページでの啓発やチラシを配布し、積極的に声掛けを行ない、社協会員の加入促進を図りました。

社協会費納入（集計金額 令和5年3月31日現在）

〔単位：円〕

	戸別会費	賛助会費	団体会費	合 計
吉 田	1,281,500	23,000	108,000	1,412,500
八千代	546,250	10,000	45,000	601,250
美土里	401,500	4,000	24,000	429,500
高 宮	473,000	4,000	54,000	531,000
甲 田	616,300	10,000	39,000	665,300
向 原	602,000	2,000	18,000	622,000
市 外		1,000	36,000	37,000
合 計	3,920,550	54,000	324,000	4,298,550

会員加入状況（令和5年3月31日現在）

〔単位：件〕

	賛助会員	団体会員
吉 田	23	36
八千代	10	15
美土里	4	8
高 宮	4	18
甲 田	10	13
向 原	2	6
市 外	1	12
合 計	54	108

(2) センター受託管理運営事業

安芸高田市から指定管理委託を受けた以下の施設について、地域の福祉拠点
且つ多様化する住民ニーズに対応する場として、新型コロナウイルス感染症予防
対策を講じながら運営を行ないました。

延べ利用団体数、延べ利用人数（令和5年3月31日現在） [単位：団体、人]

管 理 施 設	延べ利用団体数	延利用者数
保健センター	298	5,134
吉田老人福祉センター	215	2,003
ふれあいセンターいきいきの里	215	2,174
ふれあいセンターこうだ	101	973
合 計	829	10,284

【地域福祉課】

(地域福祉事業)

(1) 地域福祉会議事業

地域共生社会の実現をめざし、住民主体による地域の福祉課題把握から解決を試みる地域基盤づくりと、県社協の協力を得て、住民団体による研修や具体的な取組の支援を行ないました。

① 議長会

[第1回]

日時：令和4年6月28日（火）

内容：令和4年度の取組みについて

[第2回]

日時：令和4年11月15日（火）

内容：令和4年度地域福祉会議助成について
令和4年度の進捗状況と下期の計画について



② 地域福祉会議

	委員数	開催数	延べ出席者数
吉 田	12	12	134
八千代	9	12	92
美土里	10	12	88
高 宮	9	12	63
甲 田	6	11	55
向 原	7	11	68



③ 活動実績

	取組み等
吉 田	<ul style="list-style-type: none"> 地域共生社会の実現に向けた基盤整備 新規サロン立上げ3ヵ所（中馬、山手、中原） 第3層協議体となるサロン交流会（情報交換会）の実施 「ふくし通信」の発行（地域福祉会議の活動周知）
八千代	<ul style="list-style-type: none"> リーフレット「保存版 八千代住民のみなさん」を各戸配布 佐々井地区におけるお太助協力隊の発足 全町域へエリア拡大協議（協力隊20名、利用者4名） 要支援者リストの整備
美土里	<ul style="list-style-type: none"> 北地区における買い物支援（移動スーパー）開始 全町域へエリア拡大協議（現利用者45名） 生田地区におけるゴミ出し支援実施に向け検討・試行中
高 宮	<ul style="list-style-type: none"> 井戸端カフェ（居場所づくり）開催 3回実施延べ参加者数29人 井戸端カフェの移動開催を検討 限界集落での地域福祉サービスの実施に向けた実態把握 志部府周辺地域 26世帯（うち、一人世帯14世帯）

甲 田	・ 出前講座の普及・啓発活動 2件実施（小原地区、稼地地区）
向 原	・ ふれあいサロン、認知症カフェ等の支援 空白（坂）地区新規サロン立上げ 認知症カフェ登録者 7名増員

④ 総合相談支援体制強化の推進

個別支援と地域支援を円滑に実施する体制を強化するため、総合相談事業定例会や研修、局内の総合相談への意識を高め、連携を図りました。

内 容	開催数	開催日
局内課題検討会	3	令和4年6月17日 令和4年10月25日 令和4年12月6日
局内個別支援事業所・地域支援担当者合同会議	3	令和4年9月22日 令和4年12月28日 令和5年1月27日
総合相談指定事業研修	1	令和4年12月20日

(2) 小地域お茶の間づくり事業

コロナ禍で活動が制限されるなか、常設的な拠点で高齢者等の日中の居場所づくりを行なうとともに、地域課題を共有・解決する活動の支援を行ないました。



【活動実績】

	お茶の間数	延開催数	延利用者数
吉 田	3	66	1,280
八千代	1	19	363
美土里	2	45	496
高 官	1	20	221
甲 田	1	1	48
合 計	8	151	2,408

(3) ふれあいサロン事業

高齢者の孤立予防や見守り、支え合い活動につながることを目的とし、近隣の高齢者が住み慣れた地域で、お互いが生きがいを感じ、安心して暮らせるための交流の場として、活動費の助成、新規サロン開設支援、代表者会議での情報提供等を行ないました。また、地域福祉会議と連動した地域課題アンケート調査を行ないました。



【活動実績】

	サロン数 (うち新規数)	開催数	延利用者数
吉 田	23 (3)	239	3,158
八千代	18 (1)	159	1,934
美土里	16	103	1,663
高 宮	10	43	393
甲 田	27	180	1,777
向 原	21 (1)	134	1,387
合 計	115 (5)	858	10,312

【サロン代表者会議】

	開催数	延出席者数
吉 田	2	37
八千代	4	60
美土里	2	23
高 宮	2	14
甲 田	3	59
向 原	2	30
合 計	15	223

(4) 認知症カフェ事業

① 認知症カフェ「あいちゃんのホッとするカフェ」

認知症の方や、その家族、地域住民、医療や介護の専門職、認知症について 関心のある方など、誰もが気軽に集まり、交流する場として開催するとともに、認知症についての理解を深めるなど、個別相談に応じました。

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため時間を短縮し、2ヶ月に1回の開催としました。

【実績】

	実施場所	開催日時	延参加者数
吉 田	ふれあいセンターいきいきの里	第4水曜日 10:00～11:00	32
八千代	八千代人権福祉センター	第4月曜日 10:00～11:00	44
美土里	美土里方面隊第2分団コミュニティー消防センター	第4金曜日 10:00～11:00	13
高 宮	市役所高宮支所	第4金曜日 14:00～15:00	113
甲 田	ふれあいセンターこうだ	第4金曜日 10:00～11:00	22
向 原	向原生涯学習センターみらい	第3火曜日 14:00～15:00	55
合 計			279

② 認知症カフェ協力員会議

日 時：令和5年3月16日（木）10：00～11：30
場 所：安芸高田市保健センター3階 第1研修室
内 容：認知症カフェ事業について

令和4年度のふりかえり・意見交換

令和5年度の事業計画と今後の取り組み・意見交換

(5) 福祉・介護出前講座

地域住民の集会等において、福祉や介護に関心をもつためのきっかけづくりや地域での福祉活動に活用していただくため、市社協職員や外部組織の講師を派遣し、福祉・介護の出前講座を行ないました。



【実績】

内 容	講座回数	受講者数
認知症	4	60
こころの健康	1	12
健康づくり	4	109
レクリエーション	5	65
転倒予防	7	59
高齢者の生き方	5	62
福祉・介護制度	3	33
終活を終える	2	22
災害（予測・支援）	1	14
合 計	32	436

(6) 一般介護予防事業（げんき教室）

地域の集会所を拠点に、高齢者がいつまでも元気でいきいきと生活していけるよう、生活機能の維持・向上に向け、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底したうえで「げんき教室」を実施しました。

内 容：健康チェック、介護予防運動、認知症・うつ予防、口腔機能訓練など

対象者：65歳以上、要介護認定を受けていない方、要支援認定を受けていてもデイサービス、デイケアまたは新しい総合事業通所型サービスを利用していない方

開催日：年間49回まで

場 所：吉田老人福祉センター・ふれあいセンターいきいきの里
丹比生活改善センター・丹比西集会所・ふれあいセンターこうだ
山田集会所・高地ふれあい集会所・長屋集会所・火の谷集会所
北原集会所・前田会館



【実績】

	会場名	登録者数	開催数	延参加者数
吉 田	吉田老人福祉センター	15	47	436
	ふれあいセンターいきいきの里	16	47	428
	丹比生活改善センター	17	47	647
	丹比西集会所	14	44	395
甲 田	ふれあいセンターこうだ	11	43	315
	山田集会所	5	0	0
	高地ふれあい集会所	8	44	228
	長屋集会所	11	44	293
	火の谷集会所	7	45	269
八千代	北原集会所	9	47	249
	前田会館	10	48	290
合 計		123	456	3,550

(7) 福祉サービス利用援助事業「かけはし」

認知症高齢者・知的障がい者・精神障がい者などの判断能力が不十分な方に対して、地域で生活を送ることができるよう、福祉サービスの利用支援、日常的な金銭管理、通帳・印鑑・証書等の預かりの支援を行ないました。

【実績】

	吉 田	八千代	美土里	高 宮	甲 田	向 原	合計
登録者数	19	0	5	1	2	8	35
延支援回数	2,477	68	257	108	245	786	3,941
生活支援員数	5	1	2	2	0	1	11

(8) 成年後見事業

判断能力が不十分な方の契約や財産管理を手助けする後見人を、法人で受任すると同時に、住民の皆さまの身近な相談所となるよう努めました。

【実績】

	後 見	保 佐	補 助	合 計
受任件数	3	0	0	3
延支援回数	246	0	0	246

(9) ボランティア活動・被災者生活サポートボラネット事業

ボランティアさんの募集、活動できる内容把握、安芸高田市ボランティア連絡協議会との情報交換、清掃活動をとおしての交流を行ないました。

① ボランティアに関する情報提供・登録・相談等

社協ホームページ等を活用して情報提供を行なうほか、ボランティアの募集を行ないました。

【実績】

	登録者数	登録団体数
吉田	68	1
八千代	5	0
美土里	62	5
高宮	34	2
甲田	1	0
向原	2	0
市域	23	2
合計	195	10

活動内容：施設ボランティア（デイサービス手伝い、小物作りなど）・環境保全ボランティア（花植え・ゴミ拾いなど）・朗読ボランティア・手話ボランティア・外国人支援・動物福祉など

② 各関係機関との連携

各関係機関との連携を図りながら、ボランティアニーズの把握や情報共有等を行ないました。

ア 安芸高田市ボランティア連絡協議会

日時：令和4年9月27日(火) 10:00～
内容：令和3年度事業報告・決算について
令和4年度事業計画・予算について
市域交流会について

出席者：6人

イ 交流活動

日時：令和4年11月6日(日) 9:00～12:15
内容：郡山城跡の枯れ枝伐採と登山道清掃活動
参加者：75人

③ 被災者生活サポートボラネット推進事業

平時から発災時に被災者への支援が迅速に行なえるよう、市内の関係機関・団体がそれぞれの役割を確認し、特性を活かした効果的な支援を行なうことを目的に、情報交換や課題の検討と研修会を行ないました。

ア 被災者生活サポートボラネット推進会議

日時：令和4年7月14日(木) 13:30～14:40
場所：安芸高田市保健センター 第1研修室
内容：被災者生活サポートボラネットについて

(災害ボランティアセンター運営の考え方について)

令和3年8月大雨災害における安芸高田市災害ボランティアセンターの活動報告について
 安芸高田市被災者生活サポートボラネットにおける各機関の役割について
 災害シミュレーション研修について

出席者：19人

イ 災害シミュレーション研修

日時：令和4年8月3日(水) 13:30～15:50

場所：美土里生涯学習センターまなび

出席者：29名



(10) 日常生活応援サービス事業「ほほえみネット」

暮らしの中のちょっとした困りごとをお手伝いし、日常生活を応援する活動として利用者の相談を受け協力員をコーディネートするなど、助け合いのサービスを推進しました。

【実績】 協力員数：74人

内容	支援件数
家事援助（掃除・調理等）	145
見守り・話し相手	78
粗大ゴミの搬出・ゴミ出し	127
買い物	40
薬の受取り	19
その他	6
合計	415

(11) 安心生活創造事業

一人暮らし世帯、高齢者・障がい者世帯で日常的に支援が必要な方に、地域で安心して生活できるよう、生活・介護サポーター養成講座を修了した登録訪問員による、利用者宅へ巡回訪問する見守り活動を行ないました。

【実績】

	利用者数	訪問員数	巡回訪問 支援回数	契約訪問 支援回数	実態把握 調査数
吉 田	6	4	79	0	0
八千代	4	4	118	0	0
美土里	4	3	56	0	0
高 宮	0	0	0	0	0
甲 田	4	4	62	0	0
向 原	0	0	0	0	0
合 計	18	15	315	0	0

(12) ファミリー・サポート・センター事業

仕事の都合や急用のため、早朝や夕方、休日などに子どもを保育できない保護者のため、子育てを応援して欲しい人（依頼会員）と子育てを応援してくれる人（提供会員）とのマッチングを行ない、子育てを支援しました。

【実績】 提供会員：45人、依頼会員：43人、両方会員：2人

内 容	支援件数
学童保育・学校の送迎	182
学童保育の開始前や終了後の預かり	64
合 計	246

① 合同研修会

安芸高田市消防署員を講師に招き、ファミリー・サポート・センター事業の提供会員・依頼会員と子育て支援センター事業の一時預り会員を対象に研修会を開き、救命措置の大切さや手法等を学びました。研修終了後には、緊急車両の内部を見学しました。

【ファミリー・サポート・センター事業一時預り事業合同研修会】

日 時：令和4年11月19日(土) 9:30～12:00

内 容：子どもに起こりやすい事故と応急手当、心肺蘇生法、AEDの使用
方法

参加者：提供会員7人、依頼・一時預り会員4人、子ども7人
計18人

(13) 子育て支援センター一時預り事業

仕事の都合や急用などで子どもを保育できない時、吉田支所内の保育室「ふわふわ」で一時的に子どもを預かり、保育を行ないました。

支援件数：87件

会員数：120人



【利用理由別実績】

利用理由	利用件数
保護者の通院・体調不良	21
私用	10
保護者の勤務の都合	26
兄弟姉妹の行事の参加	11
家族の通院・健診等	3
買い物	4
引っ越し準備	2
リフレッシュ	5
就職活動	2
免許の更新・確定申告	1
美容院	2
合 計	87

(14) 障がい者地域生活アシスタント事業

障がいのある方が、地域のなかで安心して暮らすことができるよう、利用者と生活協力員をマッチングし利用者の支援を行なうとともに、相談対応等を行ないました。

【実績】

	吉 田	八千代	美土里	高 宮	甲 田	向 原	合 計
利用者数	3	0	0	0	0	0	3
延支援回数	70	0	0	0	0	0	70
生活協力員数	7	3	1	2	1	0	14

① 研修会

日 時：令和5年3月1日（水）13：30～
 場 所：安芸高田市保健センター3階 第1研修室
 内 容：障がい者地域生活アシスタント事業について
 支援相談員事例紹介・活動実践報告・意見交換

(15) 配食サービス事業

在宅の高齢者に対して、配食ボランティアが栄養バランスのとれた食事を定期的に配達するとともに、利用者の安否確認や体調の変化の聴取を行ないました。

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、手洗い、うがい、マスク着用の徹底、滞在時間の短縮を行ないました。

【実績】

	八千代	高 宮	甲 田	合 計
登録者数	17	15	0	32
配食回数	99	46	0	145
配食数	1,285	523	0	1,808

(16) 生活福祉資金・つなぎ資金貸付事業

経済的自立や生活意欲の助長促進、社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるようにすることを目的に、低所得世帯や障がい者世帯、高齢者世帯、新型コロナウイルスの影響による困窮世帯へ資金の貸付と相談支援を行ないました。

【実績】

資金名	令和3年度	令和4年度		
	年度末件数	新規貸付件数	償還件数	償還免除件数
1. 高額療養・出産費貸付資金				
(1) 高額療養費貸付資金	0	0	0	0
(2) 出産費貸付資金	0	0	0	0
2. 生活福祉資金				
(1) 生活福祉資金	3	0	1	0
(2) 緊急小口資金	6	0	1	0
3. 生活福祉資金特例貸付（新型コロナウイルスの影響による貸付）				
(1) 緊急小口資金	118	8	0	32
(2) 総合支援資金	54	0	0	7

(17) 車椅子1日無料貸出

各支所にある社協の所有する車椅子を一時的(1日間)に必要なとされる方へ無料で貸出を行うことで、通院や外出時等の便宜を図りました。

【実績】

	吉田	八千代	美土里	高宮	甲田	向原	合計
利用件数	22	0	0	1	2	6	31

【関連機関事務事業】

(1) 安芸高田市共同募金委員会事務事業

さまざまな地域福祉の課題解決に取り組む住民団体やグループ等を支援する仕組みとして、また、住民のやさしさや思いやりを届ける運動として、「じぶんの町を良くするしくみ。」をメインテーマに赤い羽根共同募金運動を行ないました。

① 運営委員会

区分	内容	開催日
第1回	○令和4年度共同募金配分金等計画について ○令和3年度事業報告・決算の承認について	令和4年7月8日
第2回	○令和5年度事業計画・会計予算について	令和5年1月31日

② 審査委員会

区分	内容	開催日
第1回	○令和4年度共同募金配分金等計画について	令和4年7月8日

③ 募金実績

[単位：円]

	戸別募金	法人募金	職域募金	街頭 イベント募金	その他	県共募口 座入金分	学校	合計
吉田	1,239,500	80,450	240,309	0	36,691	0	0	1,596,950
八千代	533,750	32,406	37,600	0	9,386	0	0	613,142
美土里	399,000	30,000	63,600	0	10,712	0	0	503,312
高宮	472,000	49,000	67,600	0	9,245	0	0	597,845
甲田	644,800	47,000	44,200	0	18,227	29,000	0	783,227
向原	605,500	49,000	56,000	0	7,451	0	0	717,951
市外					0	0	0	0
合計	3,894,550	287,856	509,309	0	91,712	29,000	0	4,812,427

④ 共同募金配分金

ご協力いただいた募金は地域福祉充実のために活用しています。

ア 社会福祉協議会事業への配分

事業名	配分額（円）
地域福社会議事業	1,016,000
小地域のお茶の間づくり事業	364,000
ふれあいサロン事業	712,000
認知症カフェ事業	223,000
ボランティア活動事業	30,000
日常生活応援サービス事業「ほほえみネット」	200,000
配食サービス事業	265,000
合計	2,810,000

イ 地域助成事業配分

市内の地域住民で組織する1団体へ総額70,000円の助成

(2) 日本赤十字社広島県支部安芸高田市地区事務事業

災害救護・救急法講習・AED（自動体外式除細動器）の普及など健康と安全を守る活動や、看護師養成・血液事業・医療事業の推進に活用させていただくため、活動資金（会費）の募集を行ないました。また、災害に対し各義援金を取扱い、広島県支部を通じて被災地へ届けることができました。

区 分	内 容	実 施 時 期
戸別会費	福祉委員へ依頼通知 500円／戸	令和4年5月1日～令和5年3月31日

① 会費納入

	一般会費（円）	世帯数	納入世帯数	納入率（％）
吉 田	1,200,280	3,723	2,403	64.5
八千代	533,250	1,222	1,086	88.8
美土里	385,000	907	769	84.7
高 宮	478,500	1,182	952	80.5
甲 田	662,500	1,577	1,287	81.6
向 原	609,500	1,438	1,219	84.7
合 計	3,869,030	10,049	7,716	76.7

② 国内災害義援金・海外救援金受付状況

義援金・救援金名	受付期間	義援金（円）
平成30年7月豪雨災害義援金	令和4年4月1日～令和5年3月31日	1,811
令和2年7月豪雨災害義援金	令和4年4月1日～令和5年3月31日	2,145
2023年トルコ・シリア地震救援金	令和5年2月9日～令和5年3月31日	88,235

③ 火災による支援

【支援実績】

発生日	地域	状況	支援物資数（個・枚）					香華料	
			毛布	安眠セット	緊急セット	バスタオル	寝衣大		寝衣小
令和4年5月11日	甲 田	全焼							○
令和4年11月1日	美土里	全焼	1	1	1	1	1		—
令和4年12月14日	甲 田	全焼	2	2	1	2	2		—
令和5年1月11日	吉 田	全焼	10	10	3	10			—
令和5年3月9日	美土里	全焼							○

※火災により亡くなられた場合、香華料での対応となる。

【地域包括支援センター】

(1) 総合相談業務（権利擁護相談含む）

介護や医療、福祉など様々な相談を受け、相談内容に応じて適切な関係機関と連携を取りながら、早期対応と問題解決に努めました。

また、様々な行事や地域活動に参加し、気軽な相談窓口として地域包括支援センターの周知を図りました。

①相談受付実績

相談者	相談件数
本人	65
家族	226
市役所	35
介護サービス事業所	9
病院・薬局	66
障害者基幹相談支援センター	4
社協	25
民生委員	47
福祉委員	0
近所	11
知人	6
警察	3
他市町・包括	4
居宅介護支援事業所	161
その他	13
合 計	675

相談内容	件数
在宅介護	102
公的福祉サービス	21
介護保険	402
認知症	23
福祉用具	33
住宅改修	11
公的サービス以外の社会資源	2
高齢者虐待	10
成年後見	13
消費者被害	1
アルコール依存等	1
行方不明	0
精神・健康問題	23
生活困窮	13
その他	20
合 計	675

相談方法	件数
電話	476
来所	167
訪問	8
外出先で相談を受けた	21
その他（会議等）	3
合 計	675

②相談支援実績：他機関と連携して支援した実績

支援実人数	851 人
支援延べ回数	8,560 回

支援の詳細 ※重複あり

連携機関	相談件数
本人	3,714
家族・親族	2,253
ケアマネ	855
介護サービス事業所	1,814
市役所	437
病院・薬局	532
民生委員	200
社協	95
友人・知人・隣人	142
業者	137
消防・警察	50
障害者基幹相談支援センター	28
県・他市町	11
その他	71
合計	10,339

支援内容	件数
介護保険	5,354
健康・医療	569
家族関係・人間関係	241
精神・アルコール	386
認知症	259
生活環境	364
家計・経済	208
福祉サービス	532
権利擁護（後見・虐待）	224
福祉サービス外	177
行方不明	5
その他	12
合計	8,331

(2) 包括的・継続的ケアマネジメント業務

高齢者におけるさまざまな問題を解決するために、関係機関と連携を図りながら支援を行ないました。また、地域のケアマネジャー間のネットワーク作りを行ない、情報交換や後方支援を行ないました。

①安芸高田市居宅介護支援事業所連絡協議会

回数	日時・場所	内容
1	令和4年4月21日 13時30分～ クリスタルアージュ 小ホール	① 令和4年総会 ② 市役所からの連絡事項 ③ 事務連絡・意見交換 ④ その他

2	令和4年6月16日 13時30分～ クリスタルアージュ 小ホール	① 診療報酬改定について ② 情報交換・事務連絡 ③ 市役所からの連絡事項 ④ 安芸高田ブロック長会議報告
3	令和4年10月20日 13時30分～ クリスタルアージュ 小ホール	① 研修会「社会資源」について ② 市役所からの連絡事項 ③ 情報交換・事務連絡 ④ その他
4	令和5年1月24日 13時30分～ クリスタルアージュ 小ホール	① 研修会「自立支援型地域ケア個別会議」について ② 市役所からの連絡事項 ③ 情報交換・事務連絡 ④ その他
5	令和5年3月16日 13時30分～ クリスタルアージュ 小ホール	① 市役所からの連絡事項 ② 令和5年度総会 ③ 情報交換・事務連絡 ④ その他

②小規模多機能運営協議会参加状況

開催会場	楽々苑	GH 甲田	ふぁみ りい	GH 向原	匠	特養 甲田	通所介 護吉田	清風会 もみじ	合計
参加回数 (書面)	0(4)	2(1)	3(1)	0(1)	2(4)	0	0(0)	0(1)	7(12)

注;GH:グループホーム

③「野中式事例検討会」の開催

実際に課題を抱えているケースを市内のケアマネが、多様な視点での事例を検討することで、お互いのスキルアップに繋がりました。

開催日：令和4年10月14日（金）18：30～20：00

場 所：クリスタルアージュ 小ホール

内 容：野中式事例検討会

参加者：27人（10事業所）市役所2人



④「自立支援型ケアマネジメント研修会」の開催

開催日：令和5年1月12日（木）13：30～15：30

場 所：クリスタルアージュ 小ホール

内 容：講義『共有された計画書にそって自立支援をチームでアプローチ』
～チームとして共通の認識をもてる計画書作成をしよう～

講 師：ケアマネマイスター 小野 祥津紀氏

市役所：「令和4年度ケアプラン点検について」

参加者：会場33名（12事業所+市役所）



(3) 地域ケア会議

地域の関係機関との連携、介護支援専門員の後方支援を通じた包括的・継続的なケア体制の構築を図りました。

①個別課題解決：3件

回数 月日	協議内容	地域の共通課題	参加者	人数
第1回 7/14	情報共有と今後の対応について	独居 認知症高齢者に対する地域の理解と受け入れ	民生委員・市役所・市役所支所・包括	6
第2回 8/29	情報共有と今後の対応について	精神疾患・独居の方。地域で支えている方との今後の方針等について	民生委員・地域・市役所・包括	9
第3回 11/22	情報共有と今後の対応について	認知症の周辺症状が強い利用者への地域での在宅生活への理解と受け入れ	居宅・訪問介護・通所介護・福祉用具貸与・認知症認定看護師・地域・民生委員・市役所・包括	12
合 計				27

②地域課題解決：3件

回数 月日	協議内容	地域の共通課題	参加者	人数
第1回 6/3	身体介助を要する利用者への訪問系のサービスの不足について	介護保険事業全般で人材不足で特に訪問介護の人材難に加え、代替えサービスもないため、介護度が重度もしくはターミナルの方への在宅支援について早急に検討が必要。	地域医療連携室・ケアマネマイスター・訪問看護事業所・訪問介護事業所・居宅・市役所・社協・包括	12
第2回 8/8	第2回「認知症の方を地域で支えるために～安芸高田市での現状と課題について～」	前年度に引き続き、市と専門職合同の協議体を設置し、課題について具体的な取り組みを進めていく必要がある。	地域連携室・医師会・ケアマネマイスター・居宅・小規模多機能・市役所・包括	12
第3回 1/25	身寄りのいない利用者への後見制度に必要な精神科受診が困難な事例への対応について	認知症の進行等で後見制度の必要があるが、精神科受診につなげられない事例への専門職の対応について協議。	居宅・精神科医師・かかりつけ医・地域連携室・市役所・包括	8
合 計				32

③通所系サービス事業所(甲田町地区) 情報交換会

回数 月日	協議内容	参加者	人数
第1回 4/12	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所報告等での情報交換について ・BCPについて 	ふぁみりい・甲田・徳永医院 社協・地域包括支援センター	6
第2回 6/14	<ul style="list-style-type: none"> ・情報交換（行事、イベント、レク等） 	ふぁみりい・甲田・徳永医院 社協・地域包括支援センター	7
第3回 10/11	<ul style="list-style-type: none"> ・個別計画書について ・送迎について ・加算、減算について 	ふぁみりい・甲田・徳永医院 社協・地域包括支援センター	5
第4回 1/18	<ul style="list-style-type: none"> ・契約書、重要事項説明書 ・実績について ・コロナの通知内容 ・情報交換会での感想・意見等 ・ケアプランデータ連携システムについて 	ふぁみりい・徳永医院 社協・地域包括支援センター	4
合 計			22

④認知症ワーキング会議

第2回地域課題解決地域ケア会議を通して、ワーキング会議を発足し、具体的な行動計画立案しました。

回数 月日	協議内容	参加者	人数
第1回 11/28	<ul style="list-style-type: none"> ・お太助ガイド「安芸高田市認知症ケアパス」の修正・内容の変更について 	居宅連協・ケアマネマイスター・医師会・吉田病院・市役所・地域包括支援センター	10
第2回 12/26	<ul style="list-style-type: none"> ・情報交換（行事、イベント、レク等） 	居宅連協・ケアマネマイスター・医師会・市役所・地域包括支援センター	7
第3回 1/30	<ul style="list-style-type: none"> ・お太助ガイド「安芸高田市認知症ケアパス」の校正について 	居宅連協・ケアマネマイスター・医師会・吉田病院・市役所・地域包括支援センター	9
合 計			26

(4) 権利擁護業務

①高齢者虐待への対応

虐待の早期発見・把握に努め、市役所や他機関と連携して早期解決に向けて対応しました。

項目	件数	備考
1) 相談・通報受理件数	4 (5)	
2) 相談・通報者		
介護支援専門員等	3 (3)	居宅 3 (2)・民生委員 (1)
本人	0	
家族・親族	1 (2)	
行政職員	0	
3) 事実確認調査の結果		
虐待と判断	2	
虐待ではないと判断	1 (1)	
虐待の判断に至らなかった	(4)	
経過観察・事実確認中等	1	
4) 終結	3 (5)	

※ () については、令和3年度から継続のケース

②成年後見制度の活用促進

制度の利用が必要と思われる高齢者及び親族等関係者からの相談に対し、制度の説明や申し立てに当たっての関係機関の紹介及び、市長申し立てに関する検討を行った。関係機関との連携のもと成年後見制度講演会や相談会へ参加した。

③消費者被害の防止

市民に対する啓発を目的にパンフレットを配布した。また訪問や相談業務等を通して情報提供を行い未然防止に努めた。定期的に警察署や市役所と情報交換を行い、消費者被害の現状について関係機関への情報提供を行った。

(5) 関係機関との連携

①会議への参加

内 容	回数
市との定例会議	12
安芸高田市高齢者福祉・介護保険運営協議会	1
障害者自立支援協議会	9
芸北地対協合同会議	2
地域包括ケアシステム評価結果にかかる市町情報交換会	1
第1回管内地域包括ケア情報交換会	1
市町等苦情処理ブロック別連絡会議	1
合 計	27

②講師派遣

市民公開講座・民協・げんき教室・施設へ講師派遣を行ないました。

開催月日	派遣先	町	内容
11/29	市民公開講座	全域	地域での認知症に関する活動報告
12/27	グループホーム高田楽々苑	美土里	成年後見・虐待等について
2/3	げんき教室(北原集会所)	八千代	アンケートに基づく個別相談・体力測定
3/10	げんき教室(前田会館)	八千代	アンケートに基づく個別相談・体力測定
3/14	民生委員・児童委員新任研修	全域	包括の事業概要

③出前講座

ふれあいサロン参加者等を対象とした出前講座を開催しました。

開催月日	対象者	町	内 容	参加人数
4/20	竹原なかよしサロン	吉田	高齢者の生き方	14
5/23	かえでサロン	甲田	高齢者の生き方	10
6/16	コスモスサロン	八千代	高齢者の生き方	16
7/7	土井サロン	八千代	高齢者の生き方	13
7/11	かえでサロン	甲田	健康づくり	9
8/25	うさぎサロン	八千代	高齢者の生き方	9
9/21	上・下長屋サロン	甲田	こころの健康	12

10/3	えがおサロン八千代	八千代	健康づくり	25
10/19	吉田民児協	吉田	認知症	35
11/4	ゆめハートサロン	吉田	認知症	5
2/14	ハッピーサロン	甲田	認知症	9
2/16	坂中ふれあいサロンにここにこ会	向原	健康づくり	10
3/15	竹原なかよしサロン	吉田	認知症	11
3/17	老人クラブ連合会実践交流会	全域	健康づくり	65
合 計				243

④認知症カフェ

認知症カフェ参加者等を対象とした認知症に関する講話を行ないました。

町別	吉田	八千代	美土里	高宮	甲田	向原	合計
回数	6	6	6	6	6	6	36

(6) 広報等

①地域包括支援センターの普及啓発を目的とした広報の発行(包括だより)

発行日	内容
No.17 令和4年5月号	総合相談昨年度実績及び認知症について
No.18 令和4年8月号	夏バテ予防及び認知症について
No.19 令和4年11月号	成年後見制度・かけはし及び認知症について
No.20 令和5年2月号	季節の変わり目の体調管理及び認知症について
号外No.1 特別号	災害予防・対策等について

②認知症予防や権利擁護等を目的としたパンフレット作成

パンフレット名	部数
すこやか介護保険	500
安芸高田市地域包括支援センター	1,000
認知症の人との接し方のポイント	300
認知症でも安心して暮らせるまちに	300

(7) 研修会・講演会への参加

①研修会への参加

内 容	回数
主任介護支援専門員スキル向上関連	4
虐待対応スキル向上関連	2
保健・医療対応関連	8
高齢者の自立支援関連	1
地域共生社会での地域支援関連	9
地域包括支援センター職員スキル向上関連	9
市内多職種連携研修関連	4
合 計	37

(8) 指定介護予防支援業務

要支援の方へ、自立支援のための介護予防サービス計画作成およびサービス提供の支援を行ないました。

認定調査を安芸高田市から受託し、介護支援専門員が家庭等を訪問し本人の心身の状態を調査しました。

①指定介護予防支援業務

	延利用者数 (人)	月平均利用者数 (人)
直営分	2,266	189
委託分	1,371	114
合 計	3,637	303

②介護予防ケアマネジメント

	延利用者数 (人)	月平均利用者数 (人)
直営分	721	60
委託分	538	45
合 計	1,259	105

③認定調査

延調査件数 (人)	月平均調査件数 (人)
86	7.1

④自己作成請求

(暫定計画作成し介護認定が出た場合のサービス事業所の介護報酬請求)

延利用件数 (件)	月平均利用件数 (件)
78	6.5

【介護支援課】

介護保険事業

介護保険事業では、コロナ禍でありながらも利用者の暮らしや大切な命を支える事業所として、利用施設等の衛生管理や利用者・職員の体調管理等を行なうことで、事業所の休止や一時閉鎖をすることなく、事業を展開することができました。

また、オンラインで研修を多数受講することにより、サービスの資質向上に努めました。

体制整備としては、新型コロナウイルス感染症をはじめとする感染症や自然災害の影響下における事業継続を図るため、事業継続計画（BCP）策定ワーキング会議を開催し策定しました。

（１）福祉・介護人材確保基盤整備事業

行政、福祉団体、ハローワーク、県社協と協働して福祉・介護人材確保等総合支援協議会を設立し、福祉・介護人材の確保・育成・定着を図る取組を実践します。

①市福祉・介護人材確保等総合支援協議会：計２回

区分	内容	実施日
第１回	○令和４年度協議会体制について ○協議会会長の選出について ○令和３年度事業報告及び決算報告について ○令和４年度事業計画(案)及び予算(案)について ○関係機関との情報共有 ○令和４年度広島県社協の取組について	令和４年７月５日
第２回	○初任者研修進捗状況報告 ○介護助手進捗状況報告	令和４年１０月１８日

②介護職員初任者研修

募集期間：令和４年８月２３日～９月２５日

申込者：１０人

研修期間：令和４年１０月６日～令和４年１月１９日（計１４日間）

修了者：１０人

③介護助手育成研修

募集期間：令和４年８月１２日～９月３０日

申込者：０人

第2回 募集期間：令和5年1月9日～1月23日

開催日時：令和5年2月23日 9時30分～12時30分

開催場所：特養甲田

内容：施設見学・車椅子の使用法・体験・ケアサポーターの方の実体験等の講義

申込者：9人

修了者：9人

就職登録者：7人

(本所事業所)

(1) 居宅介護支援事業

日常生活の困りごとや介護に関する相談、介護認定申請の代行、居宅サービス計画書の作成等を行ないました。質の高いマネジメントを実施するため、事業内での情報共有や研修機会を確保しスキルの向上を図るとともに、支援困難ケースへの積極的な対応を行ないました。地域支援活動を通し、介護保険制度の説明や介護予防への働きかけを積極的に行いました。

1) 介護保険

[実績表]

	延利用者数(人)	月平均利用者数(人)
令和4年度	2,014	167

2) 介護予防・総合事業

[実績表]

	延利用者数(人)	月平均利用者数(人)
令和4年度	300	25

3) 要介護認定調査

[実績表]

	延利用者数(人)	月平均利用者数(人)
令和4年度	121	10

4) 困難事例対応

〔実績表〕

	困難事例受入数(人)	地域ケア会議出席(回)
令和4年度	7	2

5) 地域支援活動（町別）

感染症対策を講じながら、「介護保険制度」や「レクリエーション」福祉用具貸与事業所と連携し「転倒予防」についての講座を実施しました。参加された方から、介護保険の相談があるなど、相談機関としての役割を果たすことができました。

〔実績表〕（出前講座講師）

	支援活動数（回）	延支援活動数（人）
吉田	4	35
八千代	5	58
美土里	0	0
高宮	0	0
甲田	2	18
向原	3	44
合計	14	155

（吉田事業所）

（1）訪問介護事業

住み慣れた地域で、利用者の有する能力に応じ自立した日常生活が送れるよう、要介護者・要支援者を対象に、訪問介護員が身体介護や生活援助の提供をしました。特定事業所加算算定事業所として人材要件、体制要件（計画的な内・外部研修、定例会議等）を整え、事業運営を行ないました。

1) 介護保険

〔実績表〕

	延利用者数(人)	月平均利用者数(人)
令和4年度	377	31

2) 総合事業

〔実績表〕

	延利用者数(人)	月平均利用者数(人)
令和4年度	102	9

(2) 障害者自立支援事業

住み慣れた地域で、安心して自立した生活がおくれるよう、障がい支援区分認定者を対象に訪問介護員が居宅を訪問して、身体介護・生活援助、外出支援を行ないました。

1) 障害サービス：居宅介護

[実績表]

	延利用者数(人)	月平均利用者数(人)
令和4年度	92	8

2) 地域生活支援：移動支援

[実績表]

	延利用者数(人)	月平均利用者数(人)
令和4年度	3	1

※令和3年度は実績なし

(3) 訪問介護自費サービス事業

介護保険サービスでは対応できない内容において、訪問介護吉田事業所が相談を受け、訪問介護員が身体介護や生活援助の提供を行ないました。8月より介護保険に移行となり利用中止となる。

[実績表]

	延利用者数(人)	月平均利用者数(人)
令和4年度	5	1

(甲田事業所)

(1) 訪問介護事業

住み慣れた地域で、可能な限り居宅において、有する能力に応じ自立した日常生活がおくれるよう、要介護者・要支援者を対象に、訪問介護員が身体介護や生活援助の提供をしました。特定事業所加算算定事業所として人材要件、体制要件（計画的な内部研修、定例会議等）を整え、事業運営を行ないました。

1) 介護保険

[実績表]

	延利用者数(人)	月平均利用者数(人)
令和4年度	418	35

2) 総合事業

[実績表]

	延利用者数(人)	月平均利用者数(人)
令和4年度	128	11

(2) 障害者自立支援事業

住み慣れた地域での安心して自立した生活がおくれるよう、障がい支援区分認定者を対象に訪問介護員が居宅を訪問して、身体介護・生活援助、外出支援を行ないました。

1) 障害サービス：居宅介護

[実績表]

	延利用者数(人)	月平均利用者数(人)
令和4年度	39	3

2) 地域生活支援：移動支援

[実績表]

	延利用者数(人)	月平均利用者数(人)
令和4年度	12	1

(3) 養育支援家庭訪問事業（受託）

令和4年度利用実績なし

(4) 産前産後サポート事業（受託）

今年度より実施した事業で、市からの要請依頼により産前産後の支援が特に必要な家庭に、訪問介護員が家事及び育児等の援助を行ないました。また、利用家庭は1件で、延利用回数は以下のとおりです。

[実績表]

	延利用回数(回)
令和4年度	20

(5) 通所介護事業

居宅において、要支援・要介護状態にある高齢者を対象に、入浴や食事等の必要な援助、機能訓練の提供を行ないました。日々介護に携わっている介護者の身体的・精神的負担の軽減に努めるとともに、一人ひとりが持つ能力を十分に発揮してもらえるよう、能動的音楽療法や軽度運動療法によるメニューを行ない、心身機能の維持向上や孤立感の解消に努めました。

1) 介護保険

[実績表]

	延利用者数(人)	月平均利用者数(人)
令和4年度	430	36

2) 総合事業

[実績表]

	延利用者数(人)	月平均利用者数(人)
令和4年度	73	6

(6) 福祉用具貸与事業

利用者が可能な限りご自宅等で、自立した日常生活を営んでいただけるよう、心身の状況や希望、生活環境を踏まえて適切な福祉用具の選定援助、取付け、調整等を行ないました。福祉用具の貸与・販売を通して、利用者の自立支援や介護者の負担軽減を図りました。

1) 介護保険

[実績表]

	延利用者数(人)	月平均利用者数(人)
令和4年度	2,542	212

2) 介護予防

[実績表]

	延利用者数(人)	月平均利用者数(人)
令和4年度	1,101	92

3) 自費レンタル事業

[実績表]

	延利用者数(人)	月平均利用者数 (人)
令和4年度	307	26

(7) 福祉用具販売事業

全体（介護保険・介護予防・介護保険対象外等）

〔実績表〕

	延利用件数(件)	月平均利用件数 (件)
令和4年度	69	6